

愛知医科大学病院

病院長名	道勇 学
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

愛知医科大学眼科専門研修プログラム

【研修目標】

大学病院で高度な先進的、専門的医療を学び、臨床経験豊富な連携施設で研修することで、眼科の基本的検査、診断技術、処置、手術を習得する。

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

1年目 眼科診療の基礎

2,3年目 手術・手技の修得、学術論文の作成

4年目 難症例の治療、手術



▲手術の現場



□ 主な連携施設

大阪大学附属病院、兵庫医科大学病院、
京都府立医科大学附属病院、上飯田第一病院、
大雄会第一病院、中津川市民病院、東京医療センター、
長寿医療研究センター、大阪医療センター、
JCHO 大阪病院、第二大阪警察病院

□ メッセージ

指導医（教授 瓶井 資弘）

愛知医科大学眼科は日本最高水準の網膜硝子体疾患の治療施設を目指しております。

サージカルに関しては、国際トップレベルの網膜硝子体手術を行っており、全国に先駆けて3Dシステムを使用した手術を行うなど先鋭的な治療を行っております。加齢黄斑変性を中心としたメディカル分野に関しては、日本有数の専門医師を中心に、ロービジョンの視覚リハビリテーションにも力

を入れていきます。網膜疾患以外の眼科専門診療の習熟に関しては、角膜炎、緑内障、ぶどう膜炎、神経眼科、斜視弱視、未熟児網膜症の日本で有数のエキスパートの医師を毎月定期的に招聘しており、各分野の疾患の基本的知識や考え方、最新知見を学ぶことができます。また、手術教育に力を入れており、1年目より白内障手術を執刀できるように指導しています。満足できる研修プログラムを組んで、次世代を担う眼科医と一緒に働くことを楽しみにしています



□ 募集要項

・採用予定人数	4人
・給与/月額	月額:426,709円(免許取得後3年目医師の平均, R4年度実績, 別途賞与と支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数/月	1~2回
・当直料/回	(救急外来) 宿直手当 約33,000円 (病棟) 宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当, 住宅手当, 扶養手当, 賞与(年2回), 社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金)), 健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 山本 敬子 電話番号 0561-62-3311(内線22181) Eメール gankaamu@aichi-med-u.ac.jp